

スタークル® 粒剤

上手な使い方！ (斑点米カメムシ編)

スタークル® は三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社の登録商標

散布の最適期 出穂後7~10日



クモハリカメムシ



アカヒゲホソトリスミカメ

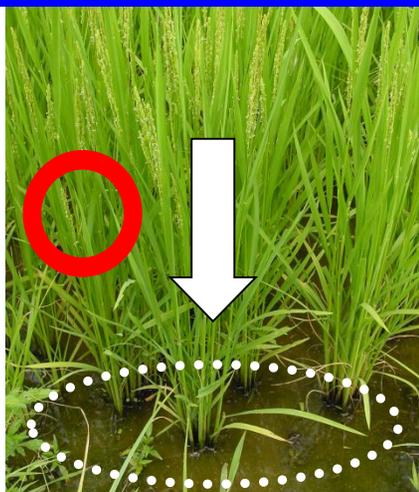


ホソハリカメムシ



アカスジカスミカメ

散布時の水管理



散布時の湛水深は
3cm 程度！



乾燥状態での散布は厳禁！



深水散布は厳禁！

田面が乾燥している状態や、
5cm以上の深水での処理は避けてください。

- ◆ 均一に散布する
- ◆ 散布後7日間は落水禁止
- ◆ 水口・水尻はしっかり止める

◆ 斑点米カメムシ防除は 周辺雑草の管理が重要！

出穂10日前頃までに畦畔の除草をしましょう。
出穂後の草刈りは、カメムシ類を水田内に追い込むことがあるので、注意しましょう。

水稲のカメムシ防除に！

ホクコー

スタークル[®] 粒剤

農林水産省登録 第20807号

有効成分:ジノテフラン 1.0%

人畜毒性:普通物

(毒劇物に該当していないものを指す通称)

特長

1.粒剤の水面施用で斑点米カメムシを防除

粒剤の水面施用のため、粉剤より隣接地へ飛散する恐れが少ないです。

2.優れた浸透移行性

散布された粒剤から有効成分が速やかに稲体内に吸収され、効果を発揮します。

3.多少の浅水でも優れた効果

少量の水でも速やかに有効成分が溶け出すため、多少の浅水でも十分効果を発揮します。

4.水稲への優れた安全性

現時点で水稲への薬害の発生事例は認められておりません。

5.高い安全性

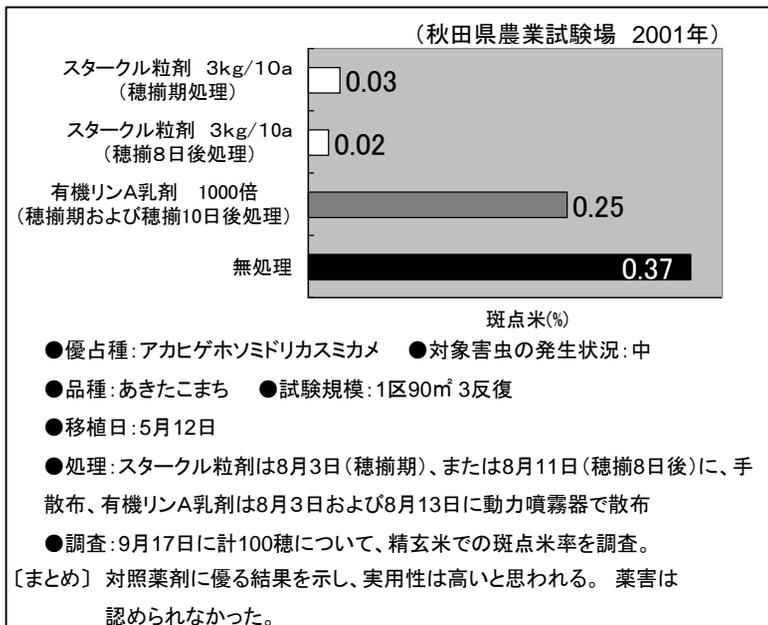
■適用内容 (稲のみ抜粋)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ジノテフランを含む農薬の総使用回数
稲	ウンカ類 ツマグロヨコバイ ニカメイチュウ カメムシ類 イネドロオイムシ イネミズゾウムシ	3kg/10a	収穫7日前まで	3回以内	散布	4回以内(*)

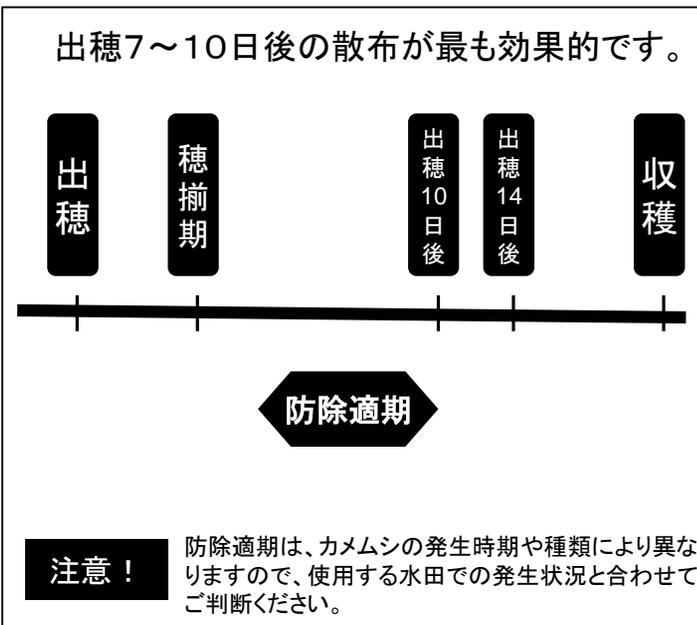
(*)育苗箱への処理及び側条施用は合計1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内

上記以外に、だいず、きゅうり、うり類(漬物用)、メロン、すいか、かぼちゃ、にがうり、ズッキーニ、なす、トマト、ミニトマト、ピーマン、とうがらし類、とうがらし(葉)、キャベツ、はくさい、ブロッコリー、ねぎ、わけぎ、レタス、非結球レタス、にんじん、かぶ、だいこん、葉ごぼう、チンゲンサイ、ほうれんそう、非結球あぶらな科葉菜類(チンゲンサイを除く)、なばな類、ふき、いちご、かんきつ(苗木)、なし(苗木)、くわい、らっきょう、オクラ、実えんどう、さやえんどう、さやいんげん、しょうが、しそ、セルリー、食用ぎく、しゅんぎく、さとうきび、茶、きく、ガーベラ、花き類・観葉植物(きく、ガーベラを除く)、つつじ類、いぐさに適用があります。

■スタークル粒剤の水面施用による効果



■スタークル粒剤の斑点米カメムシ防除時期



■使用上の注意事項

- 水稲に使用する場合には、湛水状態(3cm程度)で田面に均一に散布し、4～5日間は湛水状態を保ち、散布後7日間は落水やかけ流しをしないでください。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意してください。
 - ・ミツバチ等の巣箱及びその周辺に飛散するおそれがある場合には使用しないでください。
 - ・関係機関(都道府県の農業指導部局や地域の農業団体等)に対して、周辺で養蜂が行われているかを確認し、養蜂が行われている場合は、関係機関へ農業使用に係る情報を提供し、ミツバチの危害防止に努めてください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。
- ラベルの記載以外には使用しないでください。
- 本剤は小児の手の届く所には置かないでください。
- 空袋は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。
- 防除日誌を記帳しましょう。

この印刷物の記載内容は2021年3月末日現在のものです。